

ポイント-3： 災害に強い都市を支える交通

◆災害に強い交通インフラの構築

近い将来発生が懸念されている南海トラフ巨大地震や、近年増加している集中豪雨などの災害に対応するため、「強さ」と「しなやかさ」を持ったインフラの構築を進めます。

【道路施設の耐震性強化】

地震発生後に緊急車両が確実に通行できるよう、広域緊急交通路の橋梁の耐震性強化を図ります。

2020年度末（平成32年度末）までに、広域緊急交通路の耐震対策完了をめざします。

（広域緊急交通路のうち重点14路線や大阪モノレールは対策完了）



橋脚の補強



落橋防止対策

<平成30年度の主な事業箇所>

大阪高槻京都線 野々宮跨道橋 など

【鉄道施設の耐震性強化】

鉄道利用者などの安全確保、および鉄道と交差・近接する広域緊急交通路などの機能確保のため、鉄道事業者が実施する耐震補強事業に補助を行います。



橋脚補強

鉄道駅耐震補強の状況



橋脚補強

道路と鉄道が並走する箇所の耐震補強状況

<平成30年度の主な補助事業箇所>

* 高架駅：近鉄八戸ノ里駅、京阪天満橋駅、阪神西九条駅

* 高架橋など：近鉄奈良線、近鉄けいはんな線、近鉄大阪線、阪急京都線、京阪本線

【道路の無電柱化】（※再掲）

平成30年3月に策定した「大阪府無電柱化推進計画」に基づき、新たな視点を踏まえ、効率的に無電柱化を進めます。
また、新たに設置する大阪府無電柱化地方部会の市町村部会において、情報共有や技術支援を行い、市町村管理道路の無電柱化を促進します。

【道路施設の防災対策】

南海トラフ巨大地震による津波や、近年増加している集中豪雨などの災害に対応するための対策を実施します。



落石・法面崩壊防止対策



道路情報提供装置



津波注意喚起看板

<平成30年度の主な事業箇所>

国道309号（富田林市）、国道423号（豊能町）、府道 大阪生駒線（東大阪市）など

【鉄道施設の防災対策（地下駅の浸水対策）】

鉄道利用者の安全確保のため、巨大地震発生時に津波などによる浸水被害が想定される地下駅や地下トンネルの出入口において、鉄道事業者が実施する止水扉の設置などの浸水対策を支援します。



止水扉の設置状況
阪神本線 福島駅（東出入口）



止水扉の設置状況
阪神本線 福島駅（トンネル坑口）

<平成30年度の主な補助事業箇所>

阪神本線 福島駅

【災害復旧対策の推進】

平成29年10月に日本列島に上陸した台風第21号の被害が発生した箇所について、一日も早い本格復旧をめざします。

<平成30年度の事業箇所>

国道173号（兵庫県篠山市、豊能郡能勢町）
府道 岸和田牛滝山貝塚線（岸和田市）など



一般国道173号（福住地区）